

広報誌 2 月号掲載内容：令和 3 年度 地域別座談会結果報告書について
〔J A および J A 事業・活動についての意見〕

1. 営農指導・販売・購買事業について

(岡部地域)

- Q. 各地域に合った作物の研究や検討、さらにそれを地域に広める取り組みをしてほしい。
- A. 組合員のみなさまのご要望を取り入れて、地域の農業所得の向上や農地の利活用を目標に、人や地域、気象条件を勘案しながら農業経営支援隊（A—MAT）や営農経済渉外担当者が、取り組みを進めています。また、各営農経済センターが進める重点作物や新しい品目などの推進に取り組む J A への出荷者（生産部会・まんさいかん）に対し、資金の一部を助成する「J A 大井川農業振興補助事業（地域特産物開発事業）」を用意しています。ぜひ利用していただき、農業所得の向上につなげていただきたいと思います。

(キタハイ地域)

- Q. 他 J A に比べて補助事業の認識や法改正等の情報発信が薄いと感じる。
- A. これまでの補助事業関連等では、他 J A と比べて至らない点もあったかと思いますが昨年度の国の給付金申請事業では、県下 J A の中で最も多くの対応をいたしました。今後も、組合員のみなさまの農業経営の支えとなれるよう、新しい情報を収集するとともに有効性のある情報を発信していきます。

(大井川地域)

- Q. 農薬販売者として農薬使用者への散布指導を行ってほしい。
- A. J A で購入された方には適正散布のための指導を行っています。適正な使用方法については、営農経済センターへご相談ください。

(藤枝地域)

- Q. 農業経営の継続が困難となった場合に J A で委託先等を仲介してもらえないか。
- A. 各営農経済センターが窓口となり、農地バンク事業（農地中間管理事業）として、J A が貸し手と借り手の間に入り、農地の集積や荒廃農地を減らす取り組みを行っています。

(焼津地域)

- Q. 「まんさいかん」出荷者数の増減はどうなっているか。また、出荷者の増加を図るための告知やあぐりセミナー受講者への育成とフォローが徹底されているか伺いたい。
- A. 「まんさいかん」出荷者については、1500 人を目標に取り組んでいます。高齢化

での脱退等による増減があり、達成は厳しい状況です。また、あぐりセミナーには毎年10名程度が参加していただき、その一部が出荷者となっています。今後あぐりセミナー卒業者へのフォロー活動や組合員への訪問活動等を積極的に行うなどして、出荷者の増加や農業所得の向上に向けた取り組みを行っていきます。

(島田地域)

Q. 農繁期に農機具が故障すると農作業に支障がでるため、リース事業による農機具のレンタルを検討してほしい。

A. 地域により機種は異なりますが、レンタル農機としてトラクターや管理機、定植機等を備えてありますのでご利用ください。リース事業は現在行っていませんが、メーカーと相談して故障時の代替機の配置等が可能か検討します。なお、農繁期前は、農機センターに持ち込むか出張点検を依頼するなど、早めの点検をお願いします。

(藤枝・島田・キタハイ地域)

Q. 原料や原油価格の高騰による肥料や農薬、資材価格の値上がりが農業経営を圧迫している。コスト削減努力を行い、高品質で低価格の資材の供給に取り組んでほしい。

A. 原油価格高騰については、「施設園芸等セーフティネット」も発動されているため、組合員のみなさまの補助金受給のための対応を行っています。肥料や農薬等の価格上昇は避けられない状況ですが、JA静岡経済連等各所との交渉や5JA連携による肥料のロット数を増やすなど引き続き価格抑制に向けた取り組みを行います。

(キタハイ地域)

Q. 茶業が厳しくなっているため、複合作物への取り組みを考えているが、新たな農機具の購入や栽培技術の習得などの問題もある。JAとしてどのような支援や対応を行っているか伺いたい。

A. 「JA大井川農業振興補助事業」の中で、管理機など補助対象となる農機具もありますので営農経済センターへお問い合わせいただきたいと思います。また、定植機などレンタルできるものもありますので、ご利用いただきたいと思います。栽培技術については、営農担当職員が対応させていただきますが、県の試験場職員等と連携し、より専門的な指導で対応することもできますので、ぜひご相談ください。今後は、複合作物を定着していき、農業所得の向上に向けて、「まんさいかん」と「KADODE O OIGAWA」での販売対策をしっかり講じていきたいと考えています。

(キタハイ地域)

Q. 最近、茶工場職員の接客対応を見ても茶販売における営業努力が足りないように感じる。

- A. 茶価の低迷により、販売に関しては苦戦していますが、山のお茶事業としてJAおおいがわと県茶業会議所が協力し、茶を幅広く知っていただくようPR活動を行っています。また、3つの茶工場の営業担当者を金谷工場に集約し、役割や担当地域を分担し、これまで以上の成果を上げられるよう体制を強化しました。引き続き、商品開発や知名度を上げるための情報発信、ネット販売などの取り組みを強化していきます。職員の接客対応については、全職員に共通することですので改めて職員教育を徹底いたします。

(藤枝・キタハイ地域)

- Q. 支店統廃合による店舗の廃止については理解できるが、高齢者の運転免許証の返納などでJAへ来店できない人が増えている。店舗が無くなる代わりにどのような施策を考えているのか。
- A. 対象地域への対応としては、各事業における涉外担当者を充実し出向くことで、組合員および地域のみなさまの利便性を確保できる体制を構築します。また、肥料や農薬の年特予約の利用を高め、JAが配送をすることによりご不便を掛けないよう善処していきます。

(焼津地域)

- Q. 営農経済センター職員の肥料と農薬の知識向上や指導力等、組合員の期待に応えられる人材を育成してほしい。
- A. 組合員のみなさまとの日々の会話や意見交換は職員の成長につながっており、大変感謝しています。今後も、各研修会の開催やJA静岡経済連、農林事務所等との連携を強化していき、営農指導力の向上に向けて、職員の育成を行っていきます。

(大井川地域)

- Q. 営農経済事業の「成長・効率化プログラム」により、取扱量の少ない農薬等も整理の対象となり在庫を置かなくなるのか。
- A. プログラムでの肥料や農薬の項目は、在庫管理を徹底し、滞留在庫の発生を防ぐことを目的としています。在庫を置かないのではなく、適切な数量での対応をしていきますが、予約購入による早めの準備と計画的散布のご協力をお願いします。

(キタハイ地域)

- Q. 営農経済事業の「成長・効率化プログラム」はJA側のものであり、農家側にとっての問題解決にはなっていないと感じる。
- A. JAの収支改善がメインのプログラムとなっておりますので内部的な話が多くなっていますが、組合員のみなさまの農業所得の向上が大前提です。今後は農業振興等につ

いても、地域のみなさまとの意見交換を行いながら問題解決につなげていきたいと考えています。

(岡部地域)

- Q. J A大井川3か年計画における基本戦略の「営農指導の強化」、「中山間地域の農業再興」、「農地集積による優良農地の確保」は的を射た内容であり、本気で取り組んでほしい。言葉での目標設定であるため、結果を評価できるよう数値化できないか。
- A. 金融・共済事業のように全てを数値化することは難しいため、達成目標と行動目標を組み合わせて設定してあります。直ちに数値化して報告できる状況ではありませんが、今後、組合員のみなさまのご期待に応えられるよう改善を進めていきます。

2.金融・共済事業について

(岡部地域)

- Q. 金融移動店舗車両について、本当に活用していくのであれば、月に1回ではなく毎週という形をとってもらった方が利用価値は高まると思う。
- A. 金融移動店舗車両は、現在、毎月1カ所、隔週3カ所、毎週3カ所の計7カ所へ運行し、あわせて営農経済センターと連携して、資材等の販売も行っています。今後、地域のみなさまのご意見や店舗統廃合の予定も考慮したうえで稼働回数を検討し、J A各部署との連携で利用率向上に向けた工夫を検討していきます。

(岡部・島田地域)

- Q. 支店統廃合の関係で窓口が混雑するため、ATMの利用頻度が増えてきているが、高齢者はATMが安全なのか不安になり、どうしても窓口での手続になってしまう。ATMの使い方について、利用者が安全安心に取引ができるように周知してほしい。
- A. ATMの使用方法を公にすることで、詐欺グループ等に利用される問題点もあるため、中々開示することはできません。しかし、支店窓口をはじめ、金融移動店舗車両にも金融担当職員を配置しておりますので、操作等でわからないことはお気軽にご相談ください。また、ATMは非対面であり、詐欺被害防止対策が難しいため、年齢や利用頻度により引出し金額の上限設定や異常な取引があった場合に検知できる機能等により安全性確保に努めています。

(焼津地域)

- Q. 「年金友の会」会員の特典であるJ Aおおいがわ感謝の集い（歌謡ショー）とグラウンドゴルフ大会について、新型コロナウイルス感染症収束後の再開の有無と今後の事業内容、時期などわかれば教えてほしい。
- A. 全体での年金友の会の行事は、2年連続中止となりましたが、各地域での行事につい

ては、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら地域役員と検討し、令和3年1月時点では開催は可能であると考えています。令和4年度は、歌謡ショーとグラウンドゴルフ大会を例年同様の10月～11月に予定しています。

3. J A組織について

(岡部地域)

- Q. 女性部も高齢化が目立ち、役員を受けることが大変だという方も増えている。全体での大きな行事を開くことはありがたいが、負担にならないようにしてほしい。地域の活動なら、高齢の方や若い方も参加するため、農業やJ Aを知る良い機会となっている。活動の形を変えることも検討してほしい。
- A. 女性部や青壮年部からは、発表大会などが負担となっていることやJ A中央会との会議の席でも、役員や行事を無理やりやらなくても良いのではないかといったご意見もいただいています。しかし、活動の基本は、女性部や青壮年部が主体であり、地域での組合員同士のつながりを強くして農業や生活を良くしていくことが目的です。J Aとしても、部員のみなさまと一緒にいろいろな活動ができるようしっかりとサポートしていきます。

(藤枝地域)

- Q. 農業生産者の減少等により支部組織の存続が困難となっているが、解決策を見いだせない状況が続いている。支部組織の統合や廃止も含めて、J Aはこの状況をどのように考えているか。
- A. 代表支部長会においても中々答えが出せないのが現状ですが、支部組織はJ Aにとって非常に大切な組織です。各地域の実情に合わせて組織を運営していくことが一番大事であると考えますが、J Aとしてもみなさまの負担が少しでも軽くなるよう方策をしっかりと考えていきたいと思えます。

(焼津・キタハイ地域)

- Q. 最近の総代会については役員を個人攻撃するような場面があり疑問を抱いている。本来、総代会は提案された内容について討議する場であり、組合員は役職員を盛り上げるような行動をとる必要があると思う。今後の総代会のあり方について検討いただきたい。
- A. 総代会はJ Aがより良い方向に向かうため、組合員のみなさまと大切な意見交換を行う場であると思えます。今後も建設的で有意義な総代会となるよう努力しますので、ご協力をよろしく願います。

4.その他

(岡部・藤枝・焼津・大井川地域)

Q.「KADODE OOIGAWA」の来場者数、販売実績等はどのような状況であるか。
また下期の展望や取り組みについて聞きたい。

A. 上期についてはコロナ禍でしたが、32万人のお客様にご来場いただき、売上は4億6千万円となりました。下期については、一時期と状況が変わってきているため、40万人の来場を目標としています。また、駐車場は全部で550台以上ありますが、土・日曜日は満車です。さらに、11月と12月に合わせてバス旅行の団体客で370台の予約が入っています。浜松から静岡エリアの個人客にも来場していただくため、12月までの土・日曜日、祝日についてはイベントが計画されています。今後も、富士山静岡空港や大井川鐵道株、島田市観光協会と連携をとって取り組みを進めていきます。

(焼津地域)

Q. 島田市へ車両センターが移転したが、焼津地域の利用者からは大変遠くなった。緊急時には対応してもらえるのか。

A. 焼津や岡部、藤枝地域のみなさまには、移転により距離的には遠くなり、ご不便を感じる方もいらっしゃるかと思います。しかし、緊急時等は、営業時間内であれば土・日曜日でも電話対応や車載車などを迅速に手配できる体制を整えておりますので、今後も安心してご利用ください。

(焼津地域)

Q. 葬祭サービスの対応について、社員教育ができていますのか少し疑問に思う。

A. ご遺族や会葬者のみなさまに寄り添う葬儀を目標に社員教育を行っています。「葬儀は葬祭サービスにして良かった」と言っていただけるよう今後も取り組んでいきますので、よろしくお願ひします。

(島田地域)

Q. シャネンのガソリン価格が地域ごとに違うのはどういうことか。

A. ガソリン価格は、地域ごとの石油組合で調整しなければなりません。重油に関しても、輸送費や人件費等を踏まえて価格を決めています。今後も原価の上昇が考えられますが、仕入れ価格を安くできるよう交渉していきますのでご理解をお願いします。